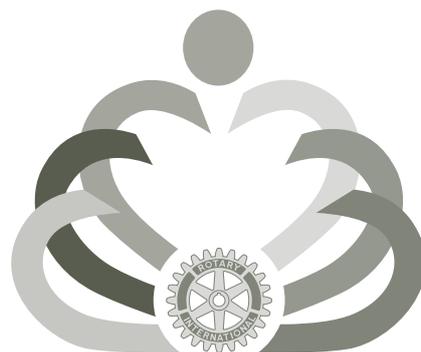




2011-2012

国際ロータリー 第2660地区

地区委員会 活動計画書



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

合同地区委員会

2011～12年度ガバナー 岡部 泰 鑑

2011.7.00[±]

大阪YMCA会館

合同地区委員会開催にあたって

ガバナー 岡部 泰 鑑

私の年度がいよいよスタートしました。

本日は、2011-12年度地区各委員会の皆様にご参集いただき、かつ、活動計画をご発表いただく貴重な場、同時に地区委員会全体の活動目標を周知徹底する場でもあります。

RIのカリヤン・バネジー会長のテーマは『Reach Within to Embrace Humanity : ころの中を見つめよう 博愛を広げるために』です。私はRI会長のテーマに基づき、そして松本直前ガバナーの地区テーマをさらに推し進めるために『見直しをすすめ 新たな第一歩を』といたしました。

しかるに、今年3月11日に発生しました東日本大震災による災害復興支援という大きな命題をいただきました。このことは3月19日(土)のPETS・地区チーム研修セミナーおよび4月23日(土)の地区協議会の場でも縷々ご説明いたしましたが、全ての活動を東日本大震災に向けて下さいと言っているわけではありません。震災復興支援は、私の年度のみ活動ではなくて高島年度にも引き継がれてゆくべき活動であります。

従いまして、各委員会におかれましては、従前の計画を推し進めるもの、新たに活動計画を企画、立案していただくもの等々の活動は粛々と推し進めていただきたいと思います。それに加えまして、とくに社会奉仕、国際奉仕、ロータリー財団部門等におかれましては、震災支援プロジェクトについてもご検討を賜りたいと考えております。

私の年度において地区委員会活動を十二分に実施することにより、地区内各クラブ活動が躍進するものと期待しております。

また、地区と各クラブの窓口としては、IM組ごとに8人のガバナー補佐の方々をお願いしております。各クラブ訪問および日々の活動の中で適切な指導、助言をいただくと共に、逆にクラブからの質問、要望等にも適切に対処いただくことで地区とクラブとのコミュニケーションが良くなるものと思っております。

本日で参集いただきました各委員会の皆様が地区のテーマ『見直しをすすめ 新たな第一歩を』を十分ご理解のうえ活動を推し進め、この年度の活動が実り多きものとなることをお願い申し上げます。

ガバナー指名委員会

委員長	松本新太郎(八尾)
委員	岩田宙造(大阪南)
	新谷秀一(池田くれは)
	横山守雄(大阪中央)
	大谷透(大阪西南)

活動方針:

当委員会は、ガバナーノミネー選出に関するRIの細則に基づき、2014-2015年度の当地区ガバナー候補者を選出すべく活動いたします。

意義ある業績賞委員会

委員長 松本新太郎（八尾）
委員 横山守雄（大阪中央）
大谷透（大阪西南）

活動方針：

RI章典によりますと、「意義ある業績賞」は重要な問題、またはニーズに取り組むクラブの活動を表彰するプログラムであると定められております。その目的は全てのクラブに新プロジェクトを奨励し、かつクラブが模範的な活動を行うことの重要性について理解を深めることであり、下記の事項を満たすものでなければなりませんと記されております。

- ・ 地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むもの。
- ・ 殆どの、又は全てのクラブ会員が、単に財政面の奉仕ではなく、身をもって奉仕活動に参加し、クラブの規模と資源に比例するものであること。
- ・ 地域社会において、ロータリーのイメージを強化するものであること。
- ・ 他のロータリークラブも実施出来るようなものであること。
- ・ 表彰年度に進行中、或いは完了されたものであること。
- ・ 単一のロータリークラブによって実施されたものであること。

当委員会は、以上の条件に基づき、受賞資格クラブを検討し、地区ガバナーに受賞候補クラブを推薦いたします。

地区研修委員会

リーダー	戸田 孝(八尾)
サブリーダー	井上 暎夫(千里)
サブリーダー	神崎 茂(大阪西)
サブリーダー	横山 守雄(大阪中央)
	金森 市造(くずは)
	三木 優(大阪イブニング)
	矢野 巖(大阪大淀)
	西上 博幸(吹田江坂)
	宮里 唯子(茨木西)
	畑田 耕一(豊中)
	木村 芳樹(大阪南)

○活動方針

地区ガバナーと協力し、地区内における以下の研修ニーズに対応する。

- a) クラブレベルの指導者育成研修
- b) 適宜、地区内におけるその他の研修会

○活動計画

ガバナー・エレクトと協力し、以下の研修ニーズに対応する。

- a) 地区チーム研修セミナー（ガバナー補佐の研修を含む）
- b) P E T S
- c) 地区協議会

クラブ奉仕部門

クラブ奉仕・増強拡大委員会

委員長	西村俊彦	(東大阪みどり)
副委員長	東村高良	(大阪うつぼ)
	吉村昭	(大阪平野)
委員	松尾浩一	(大阪南)
	堀隆	(大阪東)
	林銑吉郎	(大阪東南)
	齊城正之	(豊中-大阪国際空港)
	山口尚志	(くずは)
	松本正	(新大阪)

○活動計画

この部門は何と言っても会員をいかにして、増強するか又会員維持を行いクラブ拡大ができるか否かがテーマの部門です。

毎年毎年、会員数の減少の数字を見ながら、どうしてこれが止まらないのか、当2660地区も、1996年5601名から2009年まで13年間で1859名の会員減少となりました。2010年～2011年の松本G年度で、2011年3月末現在で45名増です。14年目で減少にストップがかかるかどうか？注目視されるどころです。

さて、会員増強は誰がやるのか、会員一人ひとりに義務が課せられております。その意識を高揚させるのがクラブ会長、幹事、増強委員長であります。一年通じて会員増強に関する卓話、フォーラム、協議会を開催することはもとより毎月の理事役員会で会員増強維持の議題を掲げ継続審議として、検討と対策を講じて、いただきたいものです。

そこで、少しでも意識高揚するために地区クラブ奉仕増強拡大委員会はお手伝いする方針であります。

2011年6月4日(土)に2660地区会員増強セミナーを大阪科学技術センターで開催いたします。ガバナー、ガバナー・エレクト他、地区役員、各クラブ次年度会長、増強委員長等お集まり頂き、増強全般にわたり話し合いたいと思います。2750地区・東京城南ロータリークラブより松下昌夫様に「Renew the Spirit of Rotary」の講演を頂きます。又各クラブより問題点や、各クラブよりの提案等ディスカッションも致します。

私どもクラブ奉仕増強拡大委員会は岡部GEの方針のもと、「数は力なり」という概念を少し横に置いて魅力ある人材や若い世代の人又女性会員を選んで魅力有るクラブ作りを第一の方針として目指したいと思えます。ロータリーの最大財産とは其れは疑いもなく我々ロータリークラブ会員一人ひとりです。

この財産なくしてロータリークラブの意味が有りますか？

なぜ会員増強が必要か、ロータリーの生存に関わる問題だからです。

新会員は私たちロータリアンの未来だからです。

ロータリークラブとは

たくさんの仲間と出会います

いろんな勉強になります

仕事のためになります

趣味も増えます

何ととっても楽しいです

広報委員会

委員長	西口宗宏（大阪中央）
副委員長	中島武（大阪堂島）
	片山一步（大阪帝塚山）
委員	永井正美（大阪城南）
	平野誠治（大阪西北）
	松任保勇（大阪中之島）
	林邦彦（大阪西）

○活動方針

「見直しをすすめ 新たな第一歩を」という地区方針に基づき、各クラブの広報活動がより活発になるようサポートに努めて参りたいと思います。そして、ロータリーの世界の素晴らしさを、外部の皆様にご覧いただくための啓蒙活動にも努めたいと思います。

○活動計画

1. 各クラブの奉仕活動の紹介

各クラブ独自のユニークな奉仕活動の中から、対外広報すべき項目について、ロータリー活動の素晴らしさをアピールできる奉仕を紹介してまいります。①Rotary At Workや、②YouTubeを通じての紹介

2. クラブ広報委員長会議

年2回実施予定。各クラブの広報体制についての検討。意見募集。

3. ホームページ更新の助言等

各クラブで運営中のホームページについて、状況をお聞きして、必要に応じて、委員会で検討し、前向きに進めるよう助言をさせて頂こうと思います。

4. マスメディアを通じた広報

各クラブから寄せられた奉仕活動の中から、テレビ・ラジオ・新聞等を通じて、対外的にアピールしてまいります。

(1) TV番組放映

ポリオ撲滅を目的として、今年2月に、インドで行ったワクチン接種の活動を7月18日に、テレビ大阪で放映予定。その製作支援と放映について各クラブに周知する。

(2) 「産経関西」を利用した広報活動（WEB＋新聞）

産経新聞社（関西）に当地区専用の広報HPを作成して頂き、各クラブから提供された活動状況などをもとに、産経新聞社のHP（もしくは新聞）に掲載していただきます。

5. RI 広報補助金申請

広報活動に対する補助金を申請し、ラジオ等で、ロータリーの啓蒙活動の特集番組を制作してまいります。

職業奉仕部門

職業奉仕委員会

委員長	長崎 弘 芳 (大東中央)
副委員長	庄野 晋 吉 (大 阪)
	中嶋 進 治 (大阪城東)
委 員	岡本 雄 介 (大阪大手前)
	木越 正 司 (大 阪 西)
	北川 忠 嗣 (東大阪東)
	松室 利 幸 (池田くれは)
	川面 智 義 (高 槻)
	堀田 修 平 (枚 方)

○活動方針

各クラブ職業奉仕委員長はクラブ内でロータリアンそれぞれが職業に対する高い倫理観をもって職業活動を行うための(研修と勉強会に有効なプログラムを)計画実行する事が大切な役割であると思います。その為の一助となるよう地区委員会活動を行います。

ロータリアンは皆何らかの職業にかかわって職業の中で日々ロータリー活動を行っています。職業という経済活動の下でロータリー活動が成り立っているといっても過言ではありません。昨今の厳しい経済状況の中で、ロータリークラブ設立の原点である、相互扶助の精神の下、最も信頼すべきビジネスパートナーはロータリアンであるはずなのに、個人情報保護法によりロータリアンがお互いの職業情報すら知ることができにくい状況になっています。まずは地区内のロータリアンが職業情報を共有できるようにする方法の検討と準備を地区委員会活動のひとつとして行いたいと思います。

○活動計画

1. アンケートの実施

2005～2006年度より実施している各クラブの事業計画についてのアンケートを実施し結果を分析の上、参考資料として報告します。

2. 出前事業の推進と職場体験学習の実施準備

10年来行ってきた「出前事業」をさらに推進します。

児童生徒の職場体験学習の実施準備の検討を行います。

3. クラブ職業奉仕委員長を中心とする卓話とフォーラムの実施

10月の職業奉仕月間に各クラブで卓話を基調とするフォーラムを実施していただきます。

4. 地区内ロータリアンの職業情報共有の為にデータベース作りの検討と準備

5. 年2回のクラブ職業奉仕委員長会議の実施

6. 年間に5～6回必要に応じ地区職業奉仕委員会の実施

社会奉仕部門

社会奉仕委員会

委員長	川 上 大 雄 (大阪ユニバーサルシティ)
副委員長	高 田 知 彦 (大阪リバーサイド)
	西 宮 富 夫 (箕 面)
委 員	鋏 田 充 生 (大阪天満橋)
	横 田 聡 (摂 津)
	山 本 光 二 (交 野)
	御 前 治 (千 里)
	滝 川 博 嗣 (門 真)
	脇 隆 俊 (大阪御堂筋)

○活動方針

ロータリアンとして被災地に対しての社会奉仕がいかにあるべきかを考え、各クラブが主体性を持って行動できるような企画、支援を実施する。

○活動計画

事 業 名	内 容
社会奉仕委員長会議	地区社会奉仕委員長会議を被災地（仙台or盛岡）で開催する。
東北でメイクアップしよう キャンペーン	被災地のロータリークラブと連携をとり、ロータリアン自ら地元に出向いて、真の声を聞き、ロータリアン同志が友情を分かち合えるお手伝いをする。
献血キャンペーンセミナー	大阪府赤十字血液センターの献血運動に協力
薬物乱用防止	大阪府健康福祉部に協力
交通安全運動	春・秋の全国交通安全運動キャンペーン

青少年奉仕部門

新世代合同委員長会議

議長	大谷透	(大阪西南)
副議長	高島凱夫	(大阪中之島)
議員	新庄幸一	(枚方)
	梅澤喜八郎	(東大阪西)
	奥田吾朗	(大阪)
	野村正勝	(箕面中央)
	牧尾晴喜	(大阪ネクスト)
	岸上億則	(千里メイプル)
	武島秀吉	(大阪御堂筋)

○活動方針

【安全な環境づくり→ Cross promotion】2010-11年度より「新世代奉仕」が、従来の四大奉仕部門（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕）に加えて、第五の奉仕部門として設置されることになり、これを契機にRIの提供する青少年のための全てのプログラムの安全な環境を確保するため、新世代に関わる各委員会の委員長が集められ、部外の信頼のおける経験者も交えて危機管理を目的とした危機管理委員会の役目を併せ持つ新世代合同委員長会議が設置されました。

しかし、この会議は安全対策という自己防衛的なことを目的とするだけでなく、互いに学び合い、協力し合うことによって、それぞれの分野でより有意義で効果的な奉仕活動が達成できるようという cross promotion の機能を持つべきだということになりました。そこで2011-12年度からは、メンバーの大部分は重複しますが、新世代合同委員長会議は危機管理委員会とは分離され、相互の cross promotion をより機能させるためと位置づけられました。

従って、それぞれの立場に立った意見交換を通じて、ロータリーの中核をなす価値観がそれぞれの分野に於ける奉仕活動の中で、より効果的に活かされるようになるための良き学びの場を提供することが活動方針です。

○活動計画

年度開始早々の7月と、年度の終わりが近くなった5月に2回会議を開催し、初回会議は活動計画を語り合い、参考となる点を学び合い、協力を要請したい点、協力しあえる点などを模索する。第二回会議は活動を振り返りながら、cross promotion の効果を語り合い、次年度のために参考となるものを残す。

【危機管理委員会】

なお、上記の危機管理委員会に関しては、昨年度に引き続き吉川謹司PGを委員長とし、標記の議長以外の新世代合同委員長会議のメンバーに西口宗宏（大阪中央）、岩本洋子（大阪そねざき）、菅沼清高（部外・元警察庁長官官房長）を加えて構成され、危機管理積立金50万円を予算に計上して、不測の事態に対処する事にしています。

青少年活動委員会

委員長	新庄幸一(枚方)
副委員長	丸尾照二(大阪御堂筋)
	植田昌克(大阪北)
	二上寛弘(大阪帝塚山)
委員	井上嗣仁(大阪中央)
	角本浩一(大阪城北)
	桑田日出男(大阪難波)
	岡村雄二(大阪大淀)
	西本健二(吹田江坂)
	井上善博(東大阪みどり)
	松本晴充(大阪中央)
	澤村榮一(豊中千里)
	松井研次(大阪東南)
	正司修二(箕面)
	古山柄博(千里メイプル)

○活動方針

新世代部門は、ロータリークラブの未来への奉仕と認識し、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、青少年交換委員会との連携を密にし、青少年活動委員会では、次代を担う青少年が、次代のリーダーとして成長し、飛躍してゆくための実践プログラムを実施してまいります。

ニコニコキャンプにおいては、児童が自然とふれあい、キャンプを通して、新しい仲間との出会いの中で、コミュニケーション力を身に付けられるよう、導いてまいります。また、ローターアクト委員会及びインターアクト委員会に協力、連携を要請して、児童のキャンプを通して、ローターアクターならびにインターアクターにリーダーシップのあり方を、実践する場を提供して行きたいと考えております。

RYLAにおいては、当地区の歴史と伝統を受け継ぎ、真に地域において、リーダーシップを発揮し、社会に奉仕できる若者を増やして行くべく実施してまいります。本年も当地区のRYLAにおける先駆的な活動である、RYLAのプログラムの企画、運営を担うチームライラの育成、発展、増強を目指してまいります。

また、地区内各クラブが、新世代の活動を積極的に行って頂くよう啓発に努め、情報発信に取り組んでいきたいと考えております。

各ロータリークラブに、大きなご負担をお掛けする委員会ですが、未来への奉仕として、ご理解ご協力を賜りますことをお願いして、活動基本方針といたします。

○活動計画

事業名	内容
少年少女 ニコニコキャンプ	開催日：2011年7月30日～8月1日 場所：舞洲スポーツアイランド ホストクラブ：吹田江坂RC
秋のライラ 上級ライラ プレキャンプ	開催日：2011年9月17日（予定） 場所：ガバナー事務所 ホストクラブ：東大阪みどりRC
秋のライラ 初級ライラ	開催日：2011年10月8日～10日 場所：大阪府立貝塚少年自然の家 ホストクラブ：東大阪みどりRC
秋のライラ 上級ライラ	開催日：2011年10月8日～10日 場所：大阪府立貝塚少年自然の家 ホストクラブ：東大阪みどりRC
春のライラ 初級ライラ	開催日：2012年5月3日～5日（予定） 場所：（未定） ホストクラブ：箕面RC
第1回正副委員長会議	開催日：2011年10月8日（予定） 場所：大阪科学技術センター（予定）
第2回正副委員長会議 ライラワークショップ	開催日：2012年5月（予定） 場所：（未定）
国際ライラへの派遣	チームライラのメンバー（2名～3名）を研修の一環として、国際ライラに派遣致します。

ローターアクト委員会

委員長	梅澤喜八郎(東大阪西)
副委員長	永田大介(池田)
	清水雄一郎(大阪北)
	横田孝久(東大阪)
	池田佳弘(大阪梅田)
委員	油井滋(大阪西南)
	一由麻里(東大阪東)
	大水勇(大阪帝塚山)
	中川順子(大阪ネクスト)
	田中隆弥(池田くれは)
	山本和良(大阪南)
	前田要之助(大阪東淀ちゃやまち)
	久保義誓(茨木)

○活動方針

「新世代奉仕」が従来の四大奉仕に加えて、RIの重要なテーマとして位置づけられたことを請けて、その意義を「ローターアクト」の活動を通じてひろくロータリアンに理解して貰うことに努めます。また、新世代奉仕部門に属する他の委員会との連携を密にして、それぞれの活動がより効果的に行われるよう委員会間の交流を深めます。

各ローターアクトクラブと提唱ロータリークラブが直面している諸事情、諸問題を十分に理解し、地区ローターアクト役員会とも諮りながら、より効率的な運営を目指します。

上記の方針に沿って、下記を今期の重点事項とします。

- ① 会員増強（サポートシステムの強化など）
- ② 提唱クラブとの情報交換
- ③ ローターアクト諸行事のロータリアンへの広報と参加呼びかけ

○活動計画

第2660地区の各ロータリークラブの新世代奉仕部門の担当者（ローターアクトクラブの提唱、未提唱を問わない）との情報、意見交換会のための会議を年2回行います。第1回目は23年9月3日（土）を予定しています。

毎月2回開催される地区ローターアクト役員会とそれぞれ月1回開催される三つのゾーン（北、中、南）の会長会に参加して、ローターアクトの活動状況を把握し適宜指導を行います。

また、下記ローターアクト地区行事に参加します。

- ① 2011年7月17日（日） 第一回地区献血・地区連絡協議会
- ② 2011年9月11日（日） 全国統一アクトの日
- ③ 2011年11月3日（木）～6日（日） 海外研修（訪問先未定）
- ④ 2012年2月19日（日） 第二回地区献血・地区連絡協議会
- ⑤ 2012年3月4日（日） 池田RAC創立40周年記念式典
- ⑥ 2012年3月10～11日（土・日） 全国ローターアクト研修会（於：新潟）
- ⑦ 2012年3月18日（日） 世界RAC DAY
- ⑧ 2012年4月15日（日） 新旧理事役員研修会
- ⑨ 2012年5月27日（日） 地区年次大会
- ⑩ 2012年6月17日（日） リーダーシップフォーラム・新人研修会

また上記以外に、地区青少年委員会が主催される「ライラ」、「ニコニコキャンプ」に地区ローターアクト役員会を通じて積極的に協力します。

インターアクト委員会

委員長	奥田 吾朗 (大阪)
副委員長	中野 秀一 (大東)
委員	田中 康正 (八尾)
	辻本 友明 (大阪帝塚山)
	米田 誠治 (大阪天王寺)
	米谷 龍二 (大阪南)
	衣斐 茂樹 (大阪)

活動方針：R I の5つの方針のひとつとして位置づけられたことを受けて、今後の活動を活発、かつ、持続的に進めていくための基盤づくりを行うため、3つの目標を掲げる。

1. インターアクターが自主的に活動を行うための支援
2. インターアクトクラブの活動の安定的基盤を図るための支援
3. インターアクトクラブとロータリークラブの交流の強化、推進

運営指針

1. インターアクターが自主的に活動を行うための支援
 - ・インターアクトクラブの基本精神の確認
→生徒の自主性を重んじ、奉仕の精神の醸成と行動を促すことを基本に行動する。
 - ・企画、実行をできる限りインターアクターに行ってもらおう
2. インターアクトクラブの活動の安定的基盤を図るための支援
 - ・提唱校および学校の理解に努める
→勉強会。学校訪問を定期的に行い幹部の理解を得る。
 - ・ロータリークラブへの理解活動に努める
→インターアクターとロータリーアンとの交流を深める
3. 全ての活動を東北震災に関連づけて行う。

海外研修

国際理解と親善を深めると共に、国際的視野を持ったリーダーになるための活動を行います。
今年は8月4日～3泊5日でマレーシア3300地区を訪問予定。
現地校との交流会では英語での発表会を行う。
ホスト 金光八尾中学校・高等学校（提唱クラブ：八尾RC）

クラブ合同会議

活動方針の確認、活動計画、概況状況の報告や意見交換会を行います。
（注、年度にまたがって行うことを行いたい。つまり、5月下旬には新体制で集まりたい）

年次大会

活動報告を通して、奉仕の精神と奉仕活動の意義を発表します。
ホスト：相愛中学・高等学校（提唱クラブ：大阪RC）

SCRUM発行

活動報告書を作ります。
担当：清風中学・高等学校（提唱クラブ：大阪南）

新入生歓迎会

交流を深めると共に奉仕活動への動機付けを行う。

担当：相愛中学・高等学校（提唱クラブ：大阪RC）

今年度の新しい取り組み

前年度から新しい体制で動き出す。

インターアクトクラブの規定どおりに活動することを奨励確認する。

青少年交換委員会

委員長	野村正勝(箕面中央)
副委員長	金本恒二郎(大阪天王寺)
	濱谷和也(東大阪)
委員	岩佐厚(大阪心斎橋)
	神田保廣(摂津)
	辻村和弘(大阪大手前)
	山本喬一(大阪天満橋)
	磯田郁子(大阪東淀ちゃやまち)

○活動方針

青少年交換プログラムについては4月23日に開催された次年度のための地区協議会プログラムの新世代奉仕部門で詳しくご紹介させていただいた。4Dルールやアウトバウンドやインバウンドという言葉の意味、カウンセラー会議やホストファミリーのオリエンテーション、ROTEXという組織や地区の委員会の様子などにも触れた。青少年交換というプログラムを多くのロータリアンに知ってもらいたかったからである。

当地区は1986年以降アメリカ、カナダ、ドイツ、フランスなど計21ヶ国へ延べ218名の青少年（高校生、アウトバウンド）を送り、また相手国からほぼ同数の学生（インバウンド）を受け入れてきた実績を持つ。今年も前年度と同様に7名ほどの候補生を選考し希望の国に送る予定であるが、3月11日に発生した地震と津波および原子力発電所の事故により、前年度に決めた派遣学生（アウトバウンド）の相手国から既に受け入れはするが派遣はしないとの回答が一件届いている。

今年も派遣候補生については各RCから推薦をお願いする予定であるが、先に述べた回答のような対応が見込まれるので地区委員会ではガバナー・エレクトや国際ロータリー日本青少年交換研究会（RIJYEC）、シニアアドバイザー（当委員会元委員長）と相談しながら注意深く進めて行きたいと考えている。

前年度から派遣学生のオリエンテーションを教育の場と捉えて、プレゼンのスキルアップだけではなく礼儀正しい対応が出来るように、派遣候補生をインバウンドの学生の行事にも積極的に参加させ、青少年交換プログラムが派遣時に間違いなく学生の成長に資することが出来るよう努力をしている。また、インバウンドの学生の日本語能力向上のためにガバナー事務所を借りた学習の場を設けたが、今年度もさらにこの点に注力してゆきたいと考えている。このほか日本文化体験学習や各種研修旅行などの行事を通してインバウンドの学生たちが印象深い経験と思い出を持ち帰れるように最善の努力をしてゆきたい。

○活動計画

地区の青少年交換委員会の仕事は次年度の派遣候補生の選考とオリエンテーション、前年度に決めた派遣学生の派遣相手国での生活を月例報告として提出してもらい、問題が発生すればこの解決に直ちに当たること、そして外国からのインバウンドの学生の種々行事の計画と実行、そして彼ら彼女らの月例報告や各ホストファミリーの月例報告から問題があれば直ちに解決に当たるなどである。したがって7名の学生を派遣すれば、通常7名の学生が外国から来日し、一方で次年度の派遣学生、例えば7名をオリエンテーションなどで指導してゆくことになる。ということは例えて言えば、常時21名の学生の名前と派遣先の国と、もっと言えば通学している高校の名前、ホストファミリーの名前に通曉していなくてはならないのである。これはほぼ不可能であるので、地区委員がそれぞれ担当を決めて、全体の問題は委員会で討議し個々の問題が発生したときには担当委員から詳細説明を受け、委員会で対応を議論するということになる。

インバウンドの学生のホストファミリーは担当クラブの先決事項であるが、基本的には派遣学生のご家庭で預かっていただく場合が通例である。したがってそのクラブに4－5名の派遣希望学生が毎年いると、インバウンドの学生をこの家族ごとで数ヶ月ごとに預かれればスムーズにホストが務まるわけである。こういう状況が理想的といえるかもしれない。

本年度の詳細なスケジュールは既にガバナー事務所の今井氏により作成されており、これまでの青少年交換委員会が築きあげてきた経験と実績の上に本委員会が寄っていることがよく理解できる。7月は来日学生ホスト関係者オリエンテーション、カウンセラー会議、募集要項発送、8月は来日学生オリエンテーション、帰国学生報告会、合同歓迎会、9月は募集締め切り、10月には派遣候補生の選考を行い、この月から派遣候補生のオリエンテーションをスタートし、翌6月まで計9回、毎月行う。この間にインバウンドの学生の各種行事（来日学生一泊研修会、地区大会参加、クリスマスパーティー、日本文化体験学習、東京方面ツアー、座禅会とお茶会、広島研修旅行、スピーチコンテストなど）をROTEXの主催および支援で実行することになる。

本年度は新しく2名の地区委員が参加され、インバウンド担当、アウトバウンド担当、ROTEX担当、コレポン担当、日本語教育担当など新しく役割を分担し、委員会が迅速に対応できるような体制作りを総員で当たりたいと考えている。

最後に付け加えると、ガバナー月信8月号に青少年交換学生募集案内を掲載し、7月下旬に東京で11－12年度全国青少年交換委員長会議が開催され、そして来年6月に第17回ロータリー日本青少年交換研究会が札幌で開催される。また松山で開かれた第16回 国際ロータリー日本青少年交換研究会ではこれまでの危機管理委員会でのハラスメントに加え、研究会では自然災害がテーマとして追加されることになった。

国際奉仕部門

国際奉仕・WCS 委員会

委員長	古澤照明	(豊中)
副委員長	石田秀	(大阪西南)
	吉田政雄	(茨木)
委員	栗原大	(大阪フレンド)
	小林哲	(吹田西)
	上場俊哉	(高槻東)
	糸川千恵子	(大東中央)
	辻正次	(豊中)
	吉馴茂子	(八尾中央)
	白方誠彌	(大阪-淀川)
	大竹洋一郎	(門真)

○活動方針

従来通りマッチング・グラントを推進しますが、東日本大震災復興に向け今年度は被災地支援の為、国内でのマッチング・グラントを全クラブ推奨致します。但し海外でのプロジェクト申請があった場合でもクラブの自主性を尊重し公平に審査を行います。

初めてのマッチング・グラント又は英語が苦手なクラブには地区委員会で申請書作成のお手伝いを致します。また被災地からの支援要請案件、クラブの情報等はニュース・レターで紹介致します。

マッチング・グラントの計画が無いクラブには複数のクラブが協力するプロジェクトに参加を呼び掛けます。

2013年度から始まる「未来の夢計画」についての勉強会を実施し、スムーズに移行が出来るようにしたいと思います。

全クラブに対して姉妹クラブ、友好クラブの締結状況を調査します。

国際親善、親睦、奉仕の輪を広げる為にタイ王国バンコクで行われます世界大会参加を呼び掛けます。

○活動計画

- ・被災地復興支援のプロジェクトの計画
- ・被災地からの支援要請案件の情報収集
- ・クラブ委員長会議を開催 年2回
- ・人道的補助金委員会との合同委員会 年2回
- ・クラブ活動計画把握の為、活動アンケート実施
- ・姉妹クラブ・友好クラブ締結状況の調査実施
- ・地区からの情報伝達のニュース・レター発信
- ・地区委員会開催 年12回
- ・国際大会参加推進

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会

委員長	福家 宏 (八尾中央)
副委員長	溝畑 正信 (東大阪東)
委員	岸上 億則 (千里メイプル)
	川田 隆 (八尾)
	杉村 雅之 (大阪中之島)
	牧尾 晴喜 (大阪ネクスト)

○活動方針

地区ロータリー財団委員会は①財団情報・増進 ②研究グループ交換 ③財団奨学金・学友 ④財団人道的補助金の4委員会により構成されています。当委員会は4委員会相互の連携を密にし、新しいロータリー財団情報を共有して地区内各クラブ／ロータリアンにそれを伝達し、財団の各種プログラムが地区内各クラブの活動に十分活用されるよう支援して参ります。

○活動計画

①財団プログラムの多くはロータリー財団からの補助金を活用することにより、その活動規模を拡大し活発なものにすることが出来ます。補助金の有効活用はクラブの活性化に繋がるので、当委員会は多くのクラブが補助金を利用して頂けるよう支援致します。補助金の資金源はロータリアンの寄付金であり、当委員会は寄付増進の努力を致します。

②ポリオ・プラスはロータリー財団の最重要プログラムです。「今こそポリオの撲滅を!!」の標語を掲げ、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の3億5,500万ドルの寄付金を受けてロータリーは2012年6月末日までに、ロータリアンによる2億ドル寄付を達成するため「ロータリー2億ドルのチャレンジ」を進めており、2011年4月26日現在、1億6,800万ドルの寄付金が集まっています。当委員会は地区内ロータリアンにポリオの情報を広く提供し、呼びかけて更に継続して寄付金の要請を致します。

③教育的プログラムは新世代育成に不可欠です。国際親善奨学生を適正に選出し、世界に向けて送り出す努力を致します。また平和フェローの発掘にも力を注ぎます。研究グループ交換は、2013年6月までに2カ国との交換が実現するよう努力し、地区内各クラブへの協力要請を行います。

④ロータリー財団の補助金制度は2013-2014年度から「未来の夢計画」構想 (Future Vision Plan) に基づき、大きく変化します。当委員会は地区財団フューチャー・ビジョン・プラン (FVP) 委員会と連携して新制度を研修し、地区内各クラブ／ロータリアンに対して情報発信を行って参ります。2011年中に、クラブ／ロータリアン向けの研修会を実施する予定です。

財団情報・増進委員会

委員長	杉村雅之(大阪中之島)
副委員長	今西敦之(八尾)
委員	鈴木肇(大阪船場)
	吉岡康雄(大阪西北)
	木村芳樹(大阪南)
	溝手敦信(大阪東)

○活動方針

- ・財団に関するあらゆるインフォメーション及びインテリジェンスを提供する。
- ・FVPについて各クラブの財団委員長を通じて理解していただく。
- ・財団の4委員会との連携をとり財団プログラムを活性する。
- ・寄付の地区目標を達成できるよう啓発・支援する。

○地区募金目標

ガバナーの方針に基づき下記とする。

年次寄付 1人 150ドル以上

ポリオ撲滅寄付 1人 3,000円以上 ポリオ撲滅ロータリー2億ドルチャレンジ

ベネファクター 各クラブ1名以上

大口寄付 地区として1名以上

※ロータリー・カードの普及(個人・会)

○活動計画

- ・地区財団セミナー 2011年8月27日(土) 13:30～
- ・クラブロータリー財団委員長会議 2011年10月22日(土) 13:30～
- ・情報・増進委員会

地区行事の準備等に関する打合せを3回開催する。

第1回	2011年8月4日(木)	16:00～	ガバナー事務所
第2回	2011年10月6日(木)	16:00～	ガバナー事務所
第3回	2012年2月2日(木)	16:00～	ガバナー事務所

財団奨学金・学友委員会

委員長	牧尾晴喜(大阪ネクスト)
副委員長	入船禎三(大阪東)
	北埜登(東大阪東)
委員	三好えり子(大阪そねざき)
	阪上博史(茨木東)
	水谷治人(守口)
	小森敏鑑(大阪南西)
	岸本和久(大阪城東)
	寺崎正也(大阪城北)
	吉城直孝(東大阪)

○活動方針

国際親善奨学生のためのオリエンテーション

国際親善奨学金制度により、2660地区から優秀な奨学生を送り出すことが当委員会の重要な使命です。そのため、奨学生に選抜された奨学生候補者に対するオリエンテーションを3回実施します。特に奨学生候補者には、親善大使としての国際親善奨学生であることの自覚を促し、ロータリーの基本理解を深めていただきます。

平和フェローの募集・選考

ロータリー財団では「国際理解と平和(紛争解決)」の実践に貢献できる学問分野を志す人たちへの奨学金制度として、平和フェロシップ制度を設けています。これまで2660地区の推薦では、まだ寺西悦子さんお一人しか選ばれていません。次代を担う若い世代から平和フェローに応募頂けるよう、幅広く募集活動を展開します。

PSC活動の支援

『PSC』は、2660地区から国際親善奨学生として海外に派遣され、その後帰国された人たちの集まりです。留学から帰国された奨学生は、帰国後も国内外を行き来するようなお仕事に就かれたり、東京など関西以外の地域で仕事を始められたり等、なかなか組織的な活動が展開できていないのが現状です。新しく帰国された奨学生を中心にPSC活動に積極的に参加されるよう呼びかけ、次年度に留学を予定している奨学生候補者に対してオリエンテーションやメーリングリストを通して強力なサポートをして頂くようお願いすると共に、委員会としてもPSC活動の活性化のため支援していきます。

○活動計画

2011-2012年度 財団奨学金・学友委員会 行事予定表

2011年5月17日更新

年 月	曜日	時 間	行 事	場 所
2011年				
7月1日	金		ロータリー財団地域セミナー	
7月16日	土		合同地区委員会	大阪YMCA会館
			財団奨学金・学友委員会歓送迎会	
8月27日	土		地区財団セミナー	大阪YMCA会館
9月17日	土	14:00～15:00	第1回財団奨学金・学友委員会	薬業年金会館
		15:00～17:40	第1回国際親善奨学生オリエンテーション	
		17:40～20:00	PSC総会・奨学生歓送迎会	
10月22日	土		地区フューチャー・ビジョン・セミナー(未定)	
11月11日(金)～11月12日(土)			地区大会	シェラトン都大阪&NHKホール
11月23日	水		ロータリー財団地域セミナー	大阪国際会議場
12月3日	土	17:00～18:00	第2回財団奨学金・学友委員会	ガバナー事務所
		18:00～20:00	PSC忘年会・帰国報告会	
2012年				
3月10日	土	14:00～19:00	第3回財団奨学金・学友委員会	
			第2回国際親善奨学生オリエンテーション	
			PSC例会・懇親会	
3月31日	土		PETS・地区チーム研修セミナー	大阪国際会議場
4月8日	日	午後	平和フェロー候補の第一次選考会	ガバナー事務所
4月28日	土		地区協議会	大阪国際会議場
6月3日	日	13:00～17:00	平和フェロー候補の面接	ガバナー事務所
6月23日	土	14:00～15:00	第4回財団奨学金・学友委員会	ガバナー事務所
		15:00～17:40	第3回国際親善奨学生オリエンテーション	
		18:00～20:00	PSC例会・奨学生歓送迎会	

※ 日程・場所は変更する場合がございます。必ずお手元に届くご案内にて再確認してください。

研究グループ交換委員会

委員長	岸上億則(千里メイプル)
副委員長	田中義久(大阪西)
委員	米田真(豊中)
	田邊司郎(寝屋川)
	松本浩一(大阪北)
	川本典美(大阪ネクスト)
	今西良介(大阪南)
	品川芳洋(八尾東)

○活動方針

GSEはロータリー財団の教育的プログラムのひとつで、1965年から始まりました。国際ロータリー／ロータリー財団の使命である他者への奉仕し、高い倫理的基準の促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することの一翼を担っています。

今年度は、スリランカ3220地区への派遣（2012年2月1日～3月1日）を行いますが、前年度に東日本大震災のため延期になった、同じくスリランカ3220地区からの受入も2011年11月4日～12月1日に行います。

GSEプログラムの目的が最善の結果と共に達成されるように、3220地区との交換を2660地区内各クラブに広く伝達していきます。

○活動計画

- 1) 委員会を月1回開催し、同委員会にはガバナー、ガバナー・エレクト、財団委員長にも出席を要請する。
- 2) 派遣については、7月に団員選考を実施し、9月に団員の顔合わせ・オリエンテーションの実施、2月1日の出発までに、地区大会やGSEアルムニ会に出席してロータリー／GSE活動についての学習やプレゼン資料の作成等の支援活動を行う。
また、団員の職種に適した研修がプログラムされるようスリランカに要請する。
- 3) 受入については、7月に地区受入正副委員長クラブ（4ブロック計8RC）を招集し、受入にあたっての役割分担を示すと共に具体的計画の作成を開始する。
- 4) 2012－2013年度GSEは、ドイツ・ハンブルグ地区との交換が内定しているため、10月末までにTRFに提出する内容を調整する。
- 5) GSEアルムニ会活動への参加と支援を行う。
- 6) VTTの勉強

財団法人道的補助金委員会

委員長	川田隆	(八尾)
副委員長	和氣主	(大阪北梅田)
	吉川仁育	(大阪なにわ)
委員	樋口信治	(大阪)
	五味千秋	(大阪心斎橋)
	鴻池一季	(大阪北)
	廣瀬讓	(豊中南)
	長屋興	(吹田西)
	紙谷正行	(吹田)

○活動方針

- (1) ロータリー財団の人的補助金プログラムを最大限活用し、各クラブが展開する東日本大震災復旧・復興支援プロジェクトがより活発なものになるよう支援し、併せてプロジェクトの規模・効果の拡大をはかる。
- (2) 地区社会奉仕委員会、国際奉仕・WCS委員会との連携を強化し、各クラブのプロジェクト立案や補助金申請に、迅速かつ適正な支援を行う

○活動計画

(1) 委員会の開催

年6回、隔月で定例開催^(※)する。

(2) 補助金使用申請の審査

① マッチンググラントのためのDDF

受付期間：前年度に引き続き、6月1日から翌年3月31日まで。

審査：随時国際奉仕・WCS委員会と同時並行で行い、受付後1週間以内に地区財団委員長に審査結果を答申する。

② 地区補助金 (DSG)

月単位の担当制を導入、クラブとより密接かつ効率的な処理を目指す。

受付期間：7月1日から翌年3月31日まで。

審査：7月から3月まで、奇数月に計5回、委員会と同日に地区補助金審査会を定例開催^(※)して行う。

(※) 東日本大震災罹災地支援プロジェクトの緊急性に鑑み、定例隔月で開催している委員会ならびに地区補助金審査会につき、必要に応じて臨時で追加して開催することがある。

(3) 情報提供

主に各クラブに向け、次の方法で情報の提供・啓蒙を行う。

- ① 地区の主催する関連会議・セミナー
- ② ニュースレター (隔月発行、原則e-mail添付による配信)

米山奨学部門

米山奨学委員会

委員長	武島秀吉(大阪御堂筋)
副委員長	田中真人(大阪北)
	西谷雅之(大阪城南)
	吉田悦治(大阪大淀)
委員	中川和之(大阪船場)
	小山義之(大阪鶴見)
	和田武彦(大阪梅田東)
	有竹正巳(大阪東)
	榊原春枝(大阪柏原)
	河内幸枝(吹田)
	福田治夫(守口イブニング)
	西邨智雄(香里園)
	近藤菜穂子(大阪ネクスト)

○活動方針

各クラブ米山委員長、カウンセラーのみなさんと共に、米山奨学生のサポート役として地区全体の諸問題に向き合い、米山という括りの中であらゆる事にチャレンジし、未来のロータリーへの変革を目指します。

○活動計画

下記のように、小委員会制を中心に、例年のスケジュールはもとより、新しい試みも行います。具体的には各小委員会の活動内容をご覧ください。

吉田小委員会：吉田悦治副委員長（大阪大淀RC）

交流活動小委員会メンバー

（小山義之 大阪鶴見RC、榊原春枝 大阪柏原RC、河内幸枝 吹田RC）

地区内各委員会との交流やRC以外の他組織との交流

- ・米山梅吉翁墓参りと米山梅吉記念館見学研修会
- ・地区内委員会パーティ
- ・新旧合同委員会
- ・クラブ委員長カウンセラー研修会
- ・新奨学生オリエンテーション

田中小委員会：田中真人副委員長（大阪北RC）

広報活動小委員会メンバー

（有竹正巳 大阪東RC、西邨智雄 香里園RC、近藤菜穂子 大阪ネクストRC）

地区内はもとより、広く一般世間にも活動内容を告知して行く

- ・ 広報の有り方を考慮
- ・ 各大学担当者との会合
- ・ 歓送会の内容と手配
- ・ スピーチコンテストの開催

西谷小委員会：西谷雅之大阪（大阪城南RC）

親睦活動小委員会メンバー

（和田武彦 大阪梅田東RC、中川和之 大阪船場RC、福田治夫 守口イブニングRC）

メンバー内の親睦を深める活動奨学生との親睦活動

- ・ かつての地区米山委員会メンバー、終了生の同窓会
- ・ 新旧合同委員会懇親会内容と会場
- ・ 宝塚リクレーション懇親会内容
- ・ 中国、台湾、韓国学友会訪問

幹事団（新入メンバー）

運営幹事 西邨智雄

会計幹事 河内幸枝

書記幹事 近藤菜穂子

記録幹事 福田治夫

1. 各小委員会は新旧合同以降、随時小委員会を開き、各活動内容をつめていきます。
2. 書類選考や面接は全員で行います。
3. 例年行われている年間行事や新事業は全員出席で行います。

地区大会実行委員会

委員長	光 信 昌 明 (大阪城南)
副委員長	岡 倉 三 郎 (大阪城南)
	野 崎 暲 一 (大阪東南)
企画委員長	上 敏 郎 (大阪城南)
幹 事	南 賀 勝 之 (大阪城南)
副幹事	福 本 保 治 (大阪城南)

2011～2012年度 地区大会のご案内

地区方針である「見なおしをすすめて 新たな第一歩を」に則り、2660地区内外のロータリアンとの交流を図り、意義深い講演の受講や、分科会の討論で自らを高揚し、ロータリーの綱領を推進できるような内容の大会を開催致します。

ホストクラブ 大阪城南RC コ・ホストクラブ 大阪東南RC

— 大会日程 —

○第一日目 平成23年11月11日(金曜日) シェラトン都ホテル大阪

・13時～17時30分

「開会式」

「セッション1」 ロータリーの原点 2680地区PG 深川純一氏

「セッション2」 米山修了生とともに、米山奨学生制度の今後を探る。

「セッション3」 大会決議案上程承認等の議事

「セッション4」 入会3年未満の新入会員の研修

・18時～20時30分

「RI会長代理歓迎晩餐会」

・15時～17時30分

「家族の集い」は、大阪歴史博物館を中心に見学。

○二日目 平成23年11月12日(土曜日) NHK大阪ホール

・13時～17時30分

「本会議」 映像を多用し、出来るだけ多くの情報を提供

「基調講演」 京都大学教授 中西輝政氏

「大震災からの復興と真の日本再生を考える」

「友愛の広場」 地区委員の活動等の情報提供等

ロータリーの友

地区代表委員 上 敏 郎（大阪城南）

1 活動方針

- ①「法人友事務所」に関する情報をガバナーと共有することに努める。
- ② 地区方針「見なおしを進め 新たな第一歩を」を活動の基本に置く。
- ③「友」誌は出版から既に半世紀を経過した。
発足当初からRI認定の地域雑誌に指定され会員は購読を約束している。
縦組み横組みのページにそれぞれ分割するなど編集の工夫は続いている。
しかし「あまり読まれていないのでは」という声も少なくない。
何をすれば少しでも改善できるのかを試行錯誤してみたい。

2 活動計画

- ①「ロータリーの友事務所」はこれまでは任意団体として運営されてきた。
2010年3月「一般社団法人ロータリーの友事務所」が設立され「法人友事務所」に財産と業務を移管して新たな運営が始まった。
今後の課題について気づくことがあれば提言をしたい。
- ② 地域の情報を取り次ぎ発信したい。
 - ・特に合併したクラブの活動について当該クラブの協力を得て紹介を試みたい。
 - ・周年記念を迎えるクラブの活動状況についてクラブの協力を得て紹介したい。
 - ・雑誌委員会の協力を得て「友愛の広場」等への投稿を促進したい。
- ③『友』誌の将来像として、印刷媒体と電子媒体のあり方についてその方向を探りたい。

地区財務委員会

委員長	梅崎道夫(大阪城南)
委員	田中昌之(八尾)
	嶽下勇治(大阪中之島)
会計	井上裕貴(大阪城南)

○活動方針

1. 地区会計の内容

地区会計は、以下のとおり一般会計・特別会計・地区基金・地区大会会計・地区協議会会計に大別されます。

- (1) 一般会計
 - ① 地区運営資金
 - ② 地区活動資金
- (2) 特別会計
 - ① 地区大会資金
 - ② 米山奨学生活動費
 - ③ 世界社会奉仕基金
 - ④ R I 規定審議会派遣積立金
 - ⑤ ロータリー研究会準備基金
 - ⑥ 危機管理積立金
- (3) 地区基金
- (4) 地区大会会計
- (5) 地区協議会会計

- (1) 一般会計は、「地区運営資金」と「地区活動資金」から構成されます。「地区運営資金」は、地区主催の各種会合費やガバナー事務所諸経費・ガバナー月信発行費等が主たる資金用途となります。「地区活動資金」は、主として地区に属する各種委員会の活動費です。
- (2) 特別会計は、一般会計から独立した部門として管理されております。
- (3) 地区基金は、以前から2660地区の基金としてプールされている資金です。現在のところ1,500万円が繰り越される予定で、そのまま次年度に繰り越す予定です。
- (4) 地区大会会計及び(5)地区協議会会計は、これまで同様、独立した会計部門として管理し、最終的にそれぞれ監査を受けるものとしします。

2. 基本方針

- (1) 会員一人あたりの負担額は変更しません。
- (2) 「地区運営資金」と「地区活動資金」への地区資金配分の割合を変更します。
- (3) 「地区活動資金」については、前年に引き続き緊縮予算を踏襲します。

3. 予算編成

- ・「地区運営資金」は、これまでの決算実績を参考に、できる限り増額を抑える方向で検討しました。

- ・「地区活動資金」は、次年度地区委員長から、次年度の事業予定と希望予算額をご提示頂き、それらに対するヒアリングと意見交換、過年度の支出実績等も勘案し、できる限りの緊縮予算への協力を頂いて決定しました。なお、研究グループ交換委員会は、松本年度で予定してましたスリランカからの派遣チーム受け入れが、岡部年度に延期されたため、今年度の同委員会予算には、松本年度の未消化部分の一部を当初の予算に合算し、270万円の予算としました。
- ・「特別会計」は、松本年度に承認されました「危機管理積立金」を新たに追加し、別途管理することとしました。
- ・会員数は、過年度の推移を見ながら、2011年7月1日における2660地区会員総数を3,700名と推定しました。
- ・会員一人あたりの負担額は、前年に引き続き22,000円とします。
- ・22,000円の配分は以下のとおりとします。
 - ①地区運営資金 @ 10,000円 × 3,700名 = 3,700万円
 - ②地区活動資金 @ 7,000円 × 3,700名 = 2,590万円
 - ③地区大会資金 @ 5,000円 × 3,700名 = 1,850万円
- ＊松本年度までの一人あたり配分額は、「地区運営資金」9,500円、「地区活動資金」7,500円でした。配分額を変更したのは、「地区運営資金」は固定的経費が多く、会員数の減少により収支差額のマイナスが膨らむのを是正するためです。地区大会については別途登録料のご負担をお願いする予定です。
- ・2011年4月に開催しました「地区協議会」では、これまでの決算実績を勘案し、各クラブの負担額を1万円減額することとしました。
- ・予算上の収支差額は、「地区運営資金」及び「地区活動資金」とともに赤字となりましたが、「地区資金決算書（2009年7月1日～2010年6月30日）」によりますと、「地区運営資金」の次年度繰越金は26,335,483円、「地区活動資金」の次年度繰越金は26,347,773円ありました。2011年6月末の繰越金は確定しておりませんが、これらの繰越金を取り崩す必要があると考えます。
- ・「地区活動資金」【収入の部】にポリオ広報活動協力金として555万円を計上しました。これは2660地区からも参加した「インドでのポリオ撲滅のためのワクチン投与活動」を、テレビ大阪が2011年7月に特別番組として放映することになり、その番組制作費に対する協力金としてお願いしたものです。会員一人あたり1,500円の協力（寄付）をお願いすることとし、2011年4月23日に開催された地区協議会の会長部門において承認を頂きました。

以上の方針に基づき、地区会計の予算執行の進捗状況を適宜監視し、健全性及び透明性の実現に努めてまいります。

地区資金・特別会計・地区基金会計予算

地区運営資金

【収入の部】

(単位：円)

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減
1. 地 区 資 金	35,625,000	37,000,000	1,375,000
2. R I 助 成 金	2,000,000	2,000,000	0
3. 雑 収 入	0	600,000	600,000
収 入 合 計	37,625,000	39,600,000	1,975,000

【支出の部】

(単位：円)

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減
A. 負 担 金			
1. ガバナー会	800,000	800,000	0
2. ロータリー文庫	1,200,000	1,200,000	0
3. 平和奨学生支援協力金	60,000	60,000	0
小 計	2,060,000	2,060,000	0
B. 会 議 費			
1. PETS・地区チーム合同セミナー	900,000	1,500,000	600,000
2. 地区合同委員会	900,000	900,000	0
3. 財団セミナー	400,000	600,000	200,000
4. DGPGGE会議	300,000	200,000	-100,000
5. G補佐・地区幹事会	50,000	30,000	-20,000
6. GE国際競技会	730,000	730,000	0
7. 予 備 費	100,000	100,000	0
小 計	3,380,000	4,060,000	680,000
C. ガバナー関係費			
1. ガバナー事務所経費	29,850,000	29,930,000	80,000
2. ガバナー月信費	5,500,000	5,300,000	-200,000
3. ガバナー補佐経費	100,000	100,000	0
4. 直前DG記念品	100,000	100,000	0
小 計	35,550,000	35,430,000	-120,000
D. 総 予 備 費	160,000	120,000	-40,000
支 出 合 計	41,150,000	41,670,000	520,000
収 支 差 額	-3,525,000	-2,070,000	1,455,000
前 年 度 繰 越 金	7,197,588	3,672,588	-3,525,000
次 年 度 繰 越 金	3,672,588	1,602,588	-2,070,000

ガバナー事務所経費

(単位：円)

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減
1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,400,000	-100,000
2. 給料・手当	16,250,000	16,530,000	280,000
3. 厚生費	2,300,000	2,300,000	0
4. コンピューター関係費用	1,300,000	1,300,000	0
5. DGGE交通会合費	900,000	900,000	0
6. 印刷費	1,400,000	1,400,000	0
7. 交通通信費	1,500,000	1,500,000	0
8. 文献費	100,000	50,000	-50,000
9. 事務用品費	600,000	600,000	0
10. 什器備品費	200,000	150,000	-50,000
11. 雑 費	500,000	500,000	0
12. 予 備 費	300,000	300,000	0
合 計	29,850,000	29,930,000	80,000

地区活動資金

【収入の部】

(単位：円)

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減
1. 地 区 資 金	28,125,000	25,900,000	-2,225,000
2. ポリオ広報活動協力金	0	5,550,000	5,550,000
収 入 合 計	28,125,000	31,450,000	3,325,000

【支出の部】

(単位：円)

科 目	10/11 予 算	11/12 予 算	増 減
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	40,000	30,000	-10,000
2. 意義ある業績賞(委)	24,000	20,000	-4,000
3. クラブ奉仕部門			
① クラブ奉仕・拡大増強(委)	480,000	480,000	0
② 広 報(委)	500,000	6,210,000	5,710,000
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	250,000	250,000	0
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	500,000	450,000	-50,000
6. 青少年奉仕部門			
① 新世代合同	32,000	32,000	0
② 青少年活動(委)	5,500,000	5,500,000	0
③ ローターアクト(委)	4,320,000	4,700,000	380,000
④ 青少年交換(委)	5,500,000	5,650,000	150,000
⑤ インターアクト(委)	1,900,000	2,000,000	100,000
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕・WCS(委)	320,000	320,000	0
8. ロータリー財団部門			
① ロータリー財団(委)	240,000	300,000	60,000
② 財団情報・増進(委)	30,000	30,000	0
③ 財団奨学金・学友(委)	700,000	650,000	-50,000
④ 研究グループ交換(委)	1,690,000	2,700,000	1,010,000
⑤ 財団人道的補助金(委)	30,000	45,000	15,000
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	330,000	350,000	20,000
10. RI規定審議会派遣積立金	400,000	200,000	-200,000
11. RIJYEC維持協力金	400,000	400,000	0
12. 危機管理積立金	500,000	500,000	0
13. 予 備 費	2,339,000	2,000,000	-339,000
小 計	26,025,000	32,817,000	6,792,000
B. RI会長DG協調事業費	0	0	0
C. IM広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	0
D. 研 修 委 員 会	200,000	200,000	0
E. ロータリー研究会準備基金	0	0	0
支 出 合 計	28,625,000	35,417,000	6,792,000
収 支 差 額	-500,000	-3,967,000	-3,467,000
前年度繰越金	13,803,410	13,303,410	-500,000
次年度繰越金	13,303,410	9,336,410	-3,967,000

常務理事 米山 謹司 （千里）	ガバナリー協 議委員会 大谷 透 （大阪西南）	ロータリー代 表委員友 上 敏郎 （大阪城南）	実行委員会 井上 暎夫 （千里）	ロータリー 3デパート 井上 暎夫 （千里）	ホ地区 協 議 ト会 大阪城南 ロータリー クラブ	地区大会実行委員会 ホ企大 大幹実 実 スト画 会 会 行 行 クラブ委 会 S 副 委 会長員 員 員 員 員 長計 A 事 長 長 三上 山 山 幹 実 実 木 口 本 賀 倉 信 敏 敏 英 勝 三 昌 裕 郎 寛 樹 之 郎 明 （大阪城南） （大阪城南） （大阪城南） （大阪城南） （大阪城南） （大阪城南） （大阪城南） （大阪城南） （大阪城南） （大阪城南）	地区財務 委員会 井 嶽田 上下中崎 裕 勇 昌 道 貴 治 之 夫 （大阪中之島） （大阪中之島） （大阪中之島） （大阪中之島） （大阪中之島）	地区幹事 次年度代表幹事 村 杉 田 福 井 山 西 山 南 中 梅 北 上 尾 畑 渡 境 橋 浦 中 本 上 下 谷 本 賀 谷 崎 崎 田 邊 義 勝 研 保 裕 健 英 勝 佳 道 恭 敏 敬 邦 高 晃 昭 一 治 貴 三 之 樹 之 正 夫 一 郎 則 豐 雄 彦 （大阪中之島） （大阪中之島）	ガバナリー・エ レクト 福 家 凱 夫 （大阪中之島） 八尾中央	第二六六〇地 区 岡 部 泰 鑑 （大阪城南）
-----------------------	----------------------------------	----------------------------------	------------------------	---------------------------------	--	---	--	--	--	----------------------------------

顧問 吉川 謹司 (東大阪東)	顧問 若林 紀男 (大阪東)	顧問 横山 守雄 (大阪中央)	顧問 岩田 宙造 (大阪南)
危機管理委員会 ◎吉川 謹司 (東大阪東) ○高島 凱夫 (大阪中之島) 新庄 幸一 (枚方) 梅澤 喜八郎 (東大阪西) 奥田 吾朗 (大阪) 野村 正勝 (箕面中央) 牧尾 晴喜 (大阪ネクスト) 岸上 億則 (千里メイプル) 武島 秀吉 (大阪御堂筋) 西口 宗宏 (大阪中央) 菅沼 清高 岩本 洋子 (大阪そねざき)	米山奨学委員会 ◎武島 秀吉 (大阪御堂筋) ○田中 真人 (大阪北) ○西谷 雅之 (大阪城南) ○吉田 悦治 (大阪大淀) 中川 和之 (大阪船場) 小山 義之 (大阪鶴見) 和田 武彦 (大阪梅田東) 有竹 正巳 (大阪東) 榊原 春枝 (大阪柏原) 河内 幸枝 (吹田) 西野 智雄 (香里園) 福田 治夫 (守口イブニング) 近藤 菜穂子 (大阪ネクスト)	ロータリー-財団委員会 ◎福家 宏 (八尾中央) ○溝畑 正信 (東大阪東) 杉村 雅之 (大阪中之島) 岸上 億則 (千里メイプル) 牧尾 晴喜 (大阪ネクスト) 川田 隆 (八尾) 財団FVP委員会 ◎福家 宏 (八尾中央) ○宮里 唯子 (茨木西) 溝畑 正信 (東大阪東) 四宮 孝郎 (大阪西南) 川田 隆 (八尾) 辻川 功一 (大阪中央)	国際奉仕・WCS委員会 ◎古澤 照明 (豊中) ○石田 秀 (大阪西南) ○吉田 政雄 (茨木) 栗原 大 (大阪フレンド) 小林 哲 (吹田西) 上場 俊哉 (高槻東) 糸川 千恵子 (大東中央) 辻 正次 (豊中) 吉駒 茂子 (八尾中央) 大竹 洋一郎 (門真) 白方 誠彌 (大阪-淀川)
災害支援プロジェクト ◎井上 暎夫 (千里) ○高島 凱夫 (大阪中之島) ○宮里 唯子 (茨木西) ○福家 宏 (八尾中央) 溝畑 正信 (東大阪東) 五味 千秋 (大阪心齋橋) 古澤 照明 (豊中) 川上 大雄 (大阪ユニバーサルシティ) 丹羽 健二 (大阪西南) 小林 和由 (大阪咲洲)	研究グループ交換委員会 ◎岸上 億則 (千里メイプル) ○田中 義久 (大阪西) 田邊 司郎 (寝屋川) 米田 真 (豊中) 松本 浩一 (大阪北) 川本 典美 (大阪ネクスト) 品川 芳洋 (八尾東) 今西 良介 (大阪南)	財団情報・増進委員会 ◎杉村 雅之 (大阪中之島) ○今西 敦之 (八尾) 鈴木 肇 (大阪船場) 吉岡 康雄 (大阪西北) 木村 芳樹 (大阪南) 溝手 敦信 (大阪東)	青少年交換委員会 ◎野村 正勝 (箕面中央) ○金本 恒二郎 (大阪天王寺) ○瀨谷 和也 (東大阪) 岩佐 厚 (大阪心齋橋) 神田 保廣 (摂津) 辻村 和弘 (大阪大手前) 山本 喬一 (大阪天満橋) 磯田 郁子 (大阪淀ぢやまぢ)
財団法人道的補助金委員会 ◎川田 隆 (八尾) ○和氣 主 (大阪北梅田) ○吉川 仁育 (大阪なにわ) 五味 千秋 (大阪心齋橋) 樋口 信治 (大阪) 鴻池 一季 (大阪北) 廣瀬 讓 (豊中南) 長屋 興 (吹田西) 紙谷 正行 (吹田)	財団奨学金・学友委員会 ◎牧尾 晴喜 (大阪ネクスト) ○入船 禎三 (大阪東) ○北埜 登 (東大阪東) 三好 えり子 (大阪そねざき) 阪上 博史 (茨木東) 水谷 治人 (守口) 小森 敏鑑 (大阪南西) 岸本 和久 (大阪城東) 寺崎 正也 (大阪城北) 吉城 直孝 (東大阪)		

タリ-第2660地区組織図

国際
タリ-
会
会長
理
長
エレクト
事
Kalyan Banerjee
田中 作次
近藤 雅臣

地区研修委員会	ガバナー補佐	ガバナー補佐 エレクト	地区ガバナー 指名委員会	地区諮問委員会	意義ある 業績賞 委員会
木畑宮西矢三金横神井戸 村田里上野木森山崎上田 芳耕唯博 市守 暎 樹一子幸嚴優造雄茂夫孝	小丹佐森岡三矢二 島羽藤 田村橋井 康健俊康耕雄弘清 秀二一次治郎嗣治	小谷平秋山樋矢豊 林口田山田口野島 和 達千正秀克了 由勉男尋雄和吉雄	大横新岩松 谷山谷田本 守秀宙新太 透雄一造郎	名譽顧問 宮 松大横新岩神若井寺吉近熊大菅廣戸 田 本山谷谷田崎林上田川藤澤森生瀬田 宏 新 守秀宙 紀暎和謹雅忠慈浩勘 太 郎透雄一造茂男夫之司臣躬祥三郎孝 章	大横松 谷山本 守新太 透雄郎
(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大) 阪(木)江(坂)淀(は)は(は)は(は)は(は)は(は) 南(中)西(坂)淀(は)は(は)は(は)は(は)は(は)は	(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大) 阪(阪)阪(阪)阪(阪)阪(阪)阪(阪)阪(阪)阪(阪) 帝(西)帝(西)帝(西)帝(西)帝(西)帝(西)帝(西)帝(西)	(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大) 阪(阪)阪(阪)阪(阪)阪(阪)阪(阪)阪(阪)阪(阪) 淀(淀)淀(淀)淀(淀)淀(淀)淀(淀)淀(淀)淀(淀)淀(淀)	(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大) 阪(池)阪(池)阪(池)阪(池)阪(池)阪(池)阪(池)阪(池) 南(中)南(中)南(中)南(中)南(中)南(中)南(中)南(中)	(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大) 阪(八)阪(八)阪(八)阪(八)阪(八)阪(八)阪(八)阪(八) 尾(尾)尾(尾)尾(尾)尾(尾)尾(尾)尾(尾)尾(尾)尾(尾)	(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大)(大) 阪(大)阪(大)阪(大)阪(大)阪(大)阪(大)阪(大)阪(大) 南(南)南(南)南(南)南(南)南(南)南(南)南(南)南(南)

新世代奉仕部門

- 顧問 大谷 透 (大阪西南)
- 新世代合同委員長会議
- ◎大谷 透 (大阪西南)
 - 高島 凱夫 (大阪中之島)
 - 新庄 幸一 (枚方)
 - 梅澤 喜八郎 (東大阪西)
 - 奥田 吾朗 (大阪)
 - 野村 正勝 (箕面中央)
 - 牧尾 晴喜 (大阪ネクスト)
 - 岸上 徳則 (千里メイプル)
 - 武島 秀吉 (大阪御堂筋)

社会奉仕部門

- 顧問 新谷 秀一 (池田くれは)
- 社会奉仕委員会
- ◎川上 大雄 (大阪ユニバーサルシティ)
 - 高田 知彦 (大阪リバーサイド)
 - 西宮 富夫 (箕面)
 - 鎌田 充生 (大阪天満橋)
 - 横田 聡 (摂津)
 - 山本 光二 (交野)
 - 御前 治 (千里)
 - 滝川 博嗣 (門真)
 - 脇 隆俊 (大阪御堂筋)

職業奉仕部門

- 顧問 神崎 茂 (大阪西)
- 職業奉仕委員会
- ◎長崎 弘芳 (大東中央)
 - 庄野 晋吉 (大阪)
 - 中嶋 進治 (大阪城東)
 - 岡本 雄介 (大阪大手前)
 - 木越 正司 (大阪西)
 - 北川 忠嗣 (東大阪東)
 - 松室 利幸 (池田くれは)
 - 川面 智義 (高槻)
 - 堀田 修平 (枚方)

クラブ奉仕部門

- 顧問 松本 新太郎 (八尾)
- クラブ奉仕・拡大増強委員会
- ◎西村 俊彦 (東大阪みどり)
 - 東村 高良 (大阪うつぼ)
 - 吉村 昭 (大阪平野)
 - 松尾 浩一 (大阪南)
 - 堀 隆 (大阪東)
 - 山口 尚志 (くずは)
 - 齊城 正之 (豊中-大阪国際空港)
 - 林 銑吉郎 (大阪東南)
 - 松本 正 (新大阪)

青少年活動委員会

- ◎新庄 幸一 (枚方)
- 丸尾 照二 (大阪御堂筋)
- 植田 昌克 (大阪北)
- 二上 寛弘 (大阪帝塚山)
- 井上 嗣仁 (大阪中央)
- 角本 浩一 (大阪城北)
- 桑田 日出男 (大阪難波)
- 岡村 雄二 (大阪大淀)
- 西本 健二 (吹田江坂)
- 井上 善博 (東大阪みどり)
- 松本 晴充 (大阪中央)
- 澤村 榮一 (豊中千里)
- 松井 研次 (大阪東南)
- 庄司 修二 (箕面)
- 古山 柄博 (千里メイプル)

ローターアクト委員会

- ◎梅澤 喜八郎 (東大阪西)
- 永田 大介 (池田)
- 清水 雄一郎 (大阪北)
- 横田 孝久 (東大阪)
- 池田 佳弘 (大阪梅田)
- 油井 滋 (大阪西南)
- 一由 麻里 (東大阪東)
- 大水 勇 (大阪帝塚山)
- 中川 順子 (大阪ネクスト)
- 田中 隆弥 (池田くれは)
- 山本 和良 (大阪南)
- 前田 要之助 (大阪東淀ちやまち)
- 久保 義誓 (茨木)

インターアクト委員会

- ◎奥田 吾朗 (大阪)
- 中野 秀一 (大東)
- 田中 康正 (八尾)
- 辻本 友明 (大阪帝塚山)
- 米田 誠治 (大阪天王寺)
- 米谷 龍二 (大阪南)
- 衣斐 茂樹 (大阪)

広報委員会

- ◎西口 宗宏 (大阪中央)
- 片山 一步 (大阪帝塚山)
- 中島 武 (大阪堂島)
- 永井 正美 (大阪城南)
- 平野 誠治 (大阪西北)
- 松任 保勇 (大阪中之島)
- 林 邦彦 (大阪西)

◎：委員長もしくはリーダー ○：副委員長もしくはサブリーダー
※新世代合同委員長会議においては ◎：議長 ○副議長



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660